

高性能自動車タイヤ用ガス

- ・タイヤ専用新タイプ充填ガス
- ・空気や窒素ガスに代わるタイヤ内圧が低下しにくい
- ・乗り心地が劇的に変わる

「高性能自動車タイヤ用ガス」の開発は、環境負荷低減と安全性追求のテーマのもと、川尻工業の工業ガス技術を最適融合する異業種間のガス会社+分析化学者+自動車販売店+アルミホイール修理会社+ユーザー共同作業によって完成したものです。環境への配慮や欧州のドライビングフィールを大切にする高性能自動車オーナー層から市場を拓げ、一般ユーザーや物流業界への普及を進めています。

「高性能自動車タイヤ用ガス」は、現在タイヤ用充填ガスとして利用されている空気や窒素ガスに比べ、漏れにくいのが大きな特長です。実験では空気を充填したケースに比べ漏れ量最大65%減、窒素との比較でも最大30%減を達成しました。タイヤ内圧が低下しにくいため、偏摩耗を防ぎタイヤの長寿命化や安全走行につながるほか、内圧不足による燃費悪化を防止します。不活性の音響伝達や振動伝達を緩和するガスを混合していますので、乗り心地が改善します。さらに、酸素や水分を含まないため、タイヤ本体やリムを劣化させないのも特長です。温暖化に影響するCO₂やフロンガスのほか、可燃性ガスも含有していません。

「高性能自動車タイヤ用ガス」の主な特長

- ①タイヤ内圧低下が少なく、タイヤ性能を長期間維持。
- ②タイヤ内圧低下による燃費の低下やタイヤ寿命の低下を抑制。
- ③操縦安定性などタイヤに求められる性能を損なわない。
- ④タイヤやリム劣化の原因となる酸素や水分を含まない。
超乾燥窒素や超乾燥空気よりも、ガス比重を考慮し安定走行性が可能。
- ⑤可燃性ガスや毒性ガスを含まない。
- ⑥地球温暖化ガスを含まない。

ご参考：タイヤ空気圧について

通常タイヤからは僅かですが自然に充填ガスが抜け、タイヤ圧力が低下していきます。

このため、定期的なタイヤ圧の点検が必要とされますが、

「(社)日本自動車タイヤ協会」の調査によると車両整備不良の多くはタイヤの空気圧不足で、タイヤ空気圧に対する関心の低さが指摘されています。タイヤ空気圧が適正圧力より低下すると、タイヤと路面との接地状況が変化するため、自動車の操縦安定性に影響が起り、万が一の時にタイヤ本来の性能を100%発揮できないばかりか、燃費の低下やタイヤ摩耗・偏摩耗を促進し、タイヤの寿命も短くなってしまいます。

■ 製品情報

7m³入りガスボンベ(重さ約50kg)

ガスボベは貸出しのみ

2ヶ月を過ぎると貸与代が発生します

圧力調整器及びダイヌゲージ、ホース、架台はご用意下さい。

販売価格は営業担当員まで。

仕様は性能向上のため予告なしに変更する事があります。

本品は、医療用器具では在りませんので、生体への使用は出来ません。

偽造品・模倣品対策事業製品

製造販売元



有限会社 川尻工業

理化学技術課 官庁公共システムグループ

〒003-0835 札幌市白石区北郷5条4丁目10番13号

詳しくはホームページで <https://www.kawajiri-kogyo.jp/>

